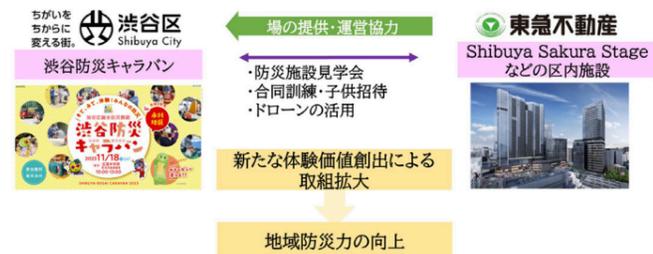


未来のレスキュー隊「災害用ドローン」

SDGsラジオを読んでみよう！

地震や津波はいつ起こるかわかりません。だからこそ、備えておくことが大切。そこで多くの街では今、地域全体で災害に備える「地域防災」に取り組んでいます。東京都の渋谷区でも「地域防災」に取り組み、地域で行う防災訓練「渋谷防災キャラバン」をはじめ、さまざまなことを行っています。都市や住まいを開発する会社「東急不動産」は、そんな渋谷区とタッグを組んで、いろいろな地域防災に取り組みながら、地震や津波などが起きた際に活躍する「災害用ドローン」の導入を進めています。災害用ドローンなら、上空から状況を確認できたり、人が立ち入れない場所に行けたり、さらには、暗闇でも見える赤外線カメラで夜でも活動できるんです。まさに未来のレスキュー隊ですね。災害用ドローンは、渋谷防災キャラバンでも披露されたんですよ。みなさんの街ではどんな地域防災をしていますか？

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：渋谷区 × 東急不動産協力関係の図（東急不動産公式HPより）



画像参照：渋谷防災キャラバンにて災害用ドローンを披露する様子（東急不動産プレスリリースより）

地震や津波などの災害はいつ発生するのか予測できないので、常に備えておくことが大切です。そこで今多くの地域では、災害への準備として「地域防災」に力を入れています。東京都の渋谷区もその一例で、地域ぐるみの防災対策を進めていて、例えば、「渋谷防災キャラバン」と呼ばれる防災訓練をおこなっています。この渋谷防災キャラバンは、渋谷区内のさまざまな場所で開催されていて、地域で暮らしている人々が防災の知識・技術を学ぶ場になっています。訓練では、避難場所の確認や応急手当の方法、防災グッズの使い方など、住民一人ひとりが災害時に取るべき行動を体験的に学ぶことができます。そんな渋谷区と協力して、都市や住まいを開発する会社「東急不動産」は、「災害用ドローン」の導入をはじめ、地域防災に関わるさまざまな取り組みを行っています。

災害用ドローンは、地震や津波などの災害が起きたときに使われる特別なドローンです。上空から被害の状況を確認したり、人が入れない場所に行ったりできます。また、暗闇でも見える赤外線カメラを使って、夜でも活動ができるのも大きな強みのひとつです。これにより、速く安全に人々を助けることができます。災害用ドローンは、渋谷防災キャラバンでも披露され、たくさんの人の注目を集めていました。

キーワード

地域防災

地震や津波などの災害に備え、地域の人々が協力して準備をすることで。避難場所や避難経路を確認したり、防災訓練を行ったりして、みんなで安全を守るための活動です。

防災訓練

災害が起きたときに備えて、どう行動するかを練習することです。避難の仕方や応急手当の方法を実際に体験し、災害が起きたときに落ち着いて行動できるように準備します。

ドローン

遠くからリモコンや自動プログラムで操作できる小型の無人航空機です。カメラを搭載して空から写真や動画を撮影できます。

対象ゴール



みなさんにできること！

地震や津波などの災害に向けて、しっかりと準備しておきましょう。

おさらい

- 災害に備えて、東京都の渋谷区では「地域防災」を積極的に行っている。
- 東急不動産は渋谷区とタッグを組んで、災害用ドローンの導入に取り組んでいる。
- 災害用ドローンは、これまで不可能だった「新しい救助活動」を実現する

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

